

研修会報告

2018年度第1回資格更新研修会

5月20日（日）に、滋賀県立男女共同参画センターG-NET しがの視聴覚室にて、大垣女子短期大学幼児養育学科学科長の松村齊教授をお招きし、「子どもと保護者の心に寄り添う丁寧な支援について～実践事例を紹介しながら～」と題し、ご講演いただきました。



子どもの内面に寄り添う丁寧な支援とは何か、丁寧な支援を行うことは何を意味するのかなど、さまざまな事例や具体的な支援例を通して学ぶことができました。「人は人から学ぶ」ということ、愛着形成、質の良い睡眠などといったことは、人が育つ基礎として大切であることを教えていただきました。

そして紹介された様々なケースについて共通していることとして①良き理解者がそばにいること、②よい体験を積んでいること③人を信頼できること、④自己肯定感が高まっていること、⑤自らの特性（障がい）とうまく向き合えること、の5点があげられ、私たち参加者一人ひとりが自分の実践を改善していくための大切な視点を与えていただきました。

滋賀支部の参加者は42名、他支部からも6名、そして一般の参加者も2名で合計50名という多くの方に参加いただくことができました。参加してくださった方から、「松村先生のやさしくてわかりやすい語り口に、3時間の研修があっというまに感じられた」「もっとお話を聞いて学びたい」という感想をいただきました。自分の実践を見直すということはエネルギーのいる作業ですが、松村先生のお話を聞くことで、参加者自身がエネルギーをしっかりともらうことになった、そんな研修会にもなったように思います。